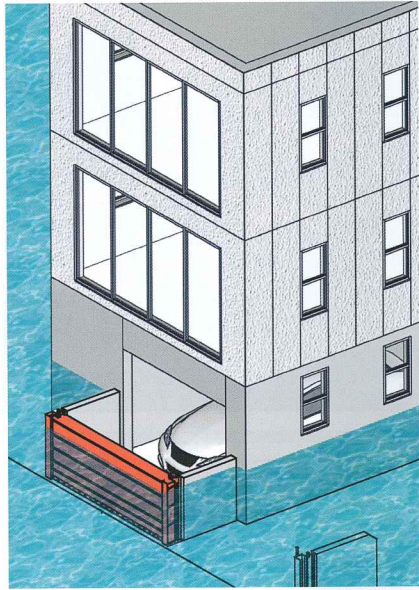
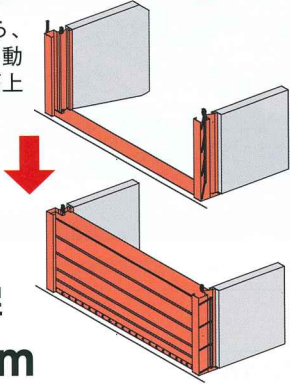


1 洪水対策

洪水を止める

① 出入口止水板 …「洪水コーナース」

洪水がきたら、その浮力で自動的に止水板が上昇する。(無電源)



② 止水塀 0.5・1m

…塀(へい)で洪水を止めるという発想

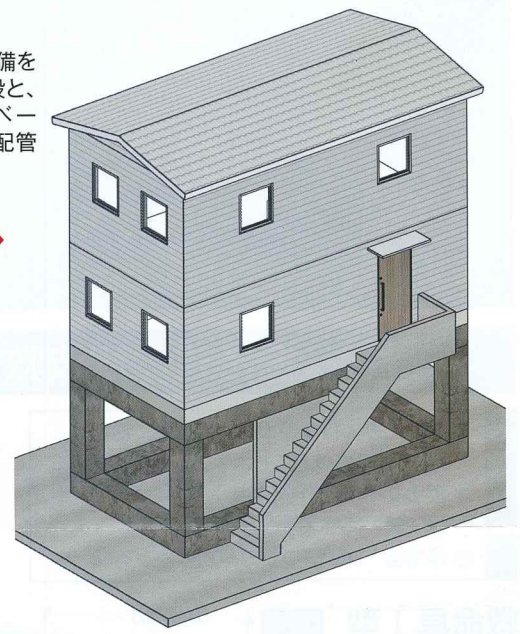
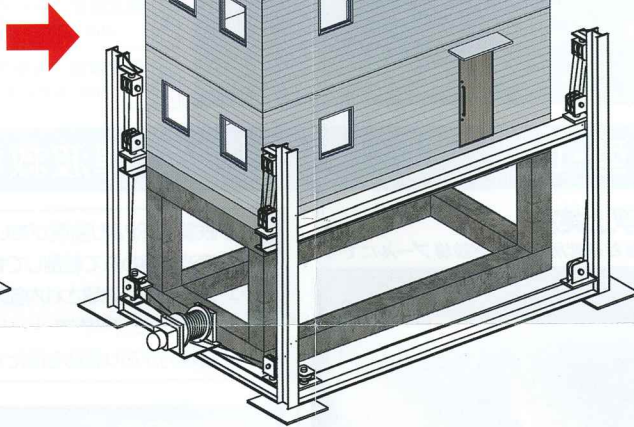
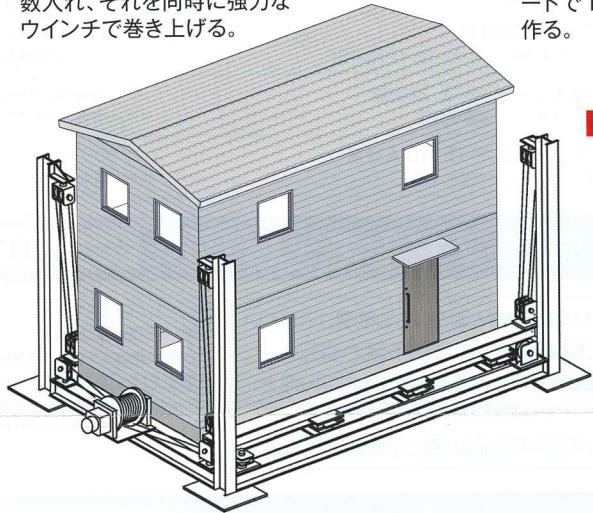
かさ上げ

③ 家全体をかさ上げする(かさ上げ工法)

現状の家の1階床をはがし、土台の下にH鋼材を必要本数入れ、それを同時に強力なウインチで巻き上げる。

吊上げられた家の下に鉄筋コンクリートで1階部分を作る。

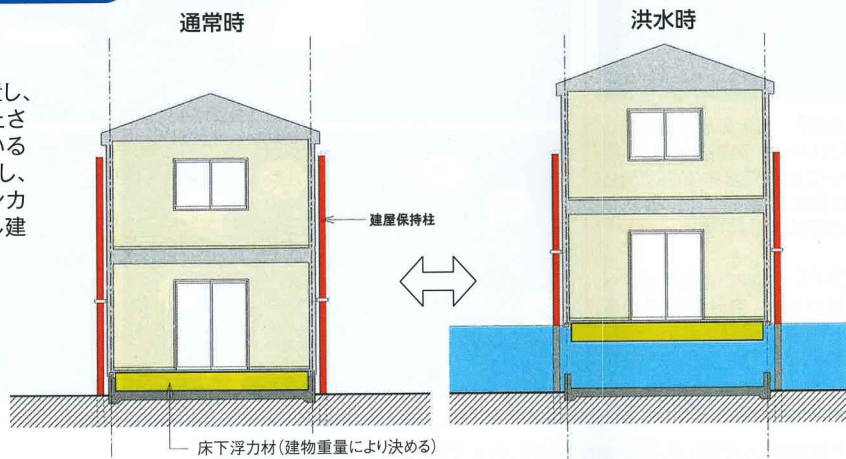
吊上げ用の設備を撤去して、階段と、必要な基礎ベースを作り設備配管をつなぐ。



浮上させる

④ 浮上式家屋

家の1階床下に浮力材を設置し、洪水時には建物全体を浮上させる。基礎と土台を止めているアンカーボルトを自動で解放し、洪水がなくなったら元のアンカーボルトの位置に正確に戻し建物を自動的に固定する。



⑤ 1階居室 床のみ浮上

既存建物の1階居室床のみを浮上させる。

床下浮力材(建物重量により決める)

⑥ 車両浮上…「車うくわ」

洪水になりそうな時、津波に襲われそうな時に車の下に設置して車を浮上させる。



2 火災対策

建物を耐火建築にすれば安心ですが、それが困難な古い木造密集地域では、防火性のある塀(へい)で建物を囲めば類焼を防止できる可能性が高くなります。



防火塀 道路面以外

① 金属板

①高さ6m ②自立 ③水冷式(壁面)
④スプリンクラー(屋根面)

② ALC

①高さ6m ②自立

③ 火災避難用品

火災から避難するには煙を避け、目を保護する事が大切です。

